

小山田小

2026年6月30日

第4号

町田市立小山田小学校

校長 悴田 隆良

042(797)1824

<http://www.machida-ky.jp/e-oyamada/>

熱中時代

校長 悴田 隆良

私は子供のころ図鑑が好きで、シリーズで買ってもらった図鑑を何度も眺めていました。特に「動物」や「魚」の巻が好きで、「昆虫」の巻は当時ちょっと苦手だったことを思い出します。夏休みには家の中で涼しい場所だった廊下に寝そべて見ていたという記憶があります。今でも、図鑑のように写真やイラストが多い本は大好きです。

思えば、我が子が小さかった頃に図鑑と一緒に買いに行きました。その時は、自分が見ていたものよりも当然ですがバージョンアップしていて、「へえ～今の図鑑はこんななんだ！」と驚いたことを覚えています。

そして図鑑はさらに内容が変わってきているようで、先日見ていたテレビの情報番組で、今の子供たちが『最強王図鑑』というものに夢中になっていると伝えていました。この図鑑は、これまでとは違う切り口で動物や昆虫の生態を知ることができるようです。ちょっと気になったので、本屋さんへ行ってみました。児童書のコーナーにある本は図鑑に限らず、興味をそそられる見出しが多いと思いました。子供向けの図書の変化をあらためて感じながら、注目の1冊を読んでみました。すると、それは遊び的な趣向を凝らした編集で構成されていて、そこから知識を習得したり、創造力を高めたりする内容でした。まさに子供たちの興味・関心をくすぐる方法でつくられているなと思いました。大人でも十分に楽しめると思います。（私は面白かったです）この夏、図書館や本屋さんに出かけて、児童書に触れてみたら新たな発見があるかもしれません。

ところで“押し活”という言葉をよく聞きます。ご存じの通り、何かを熱烈に応援することですが、その“何か”は、親の趣味に影響されて子供がハマることもあれば、子供の活動を通して親がハマることもあるようです。そこで、夏休みに子供が熱中していること、楽しんでいることに親（大人）が乗っかってみるというのはいかがでしょうか。子供の“押し”と一緒にやってみたことをきっかけに共通の趣味になったら楽しいですね。子供との話題が広がり、コミュニケーションが増えれば最強の夏休みになる？！

さて、余談ですが、昔遊びと言われるようになったベーゴマやけん玉が「ベイ○○ード」とか「KENDAMA」となって、再びブームになっているというニュースもありました。あのヨーヨーブームにハマっていた小学生のころを懐かしく思います。そのヨーヨーも大きな進化を遂げているようです。きっと、これからも時代に合わせて変化した遊びや流行が繰り返され、それがいつかは思い出となっていくのでしょうか・・・。